

ふじのくに防災フェロー養成講座



令和4年度 受講生募集

静岡大学防災総合センターでは、静岡県と連携して、「災害科学的基礎を持った防災実務者の養成（ふじのくに防災フェロー養成講座）」事業を実施しています。





応募資格

次のいずれかに該当する者

- ・行政機関、指定公共機関、指定地方公共機関（都道府県は問わない）、学校（学校教育法第一章第一条に定める教育機関）のいずれかにおいて、防災に関わる業務に従事している者（今後従事する見込みの者も含む）
- ・令和元年度以降に、静岡県「防災行政研修」を受講した者
- ・令和元年度以降に、内閣府「防災スペシャリスト養成研修」を1コース以上受講した者
- ・防災関連の大学院修士課程以上に在学中の者（令和4年4月時点で在学見込みの者を含む）
- ・その他、防災に関わる業務に従事している者で、ふじのくに防災フェロー養成講座実施委員会が適当と認める者。
なお、「業務に従事」とは、その仕事に従事することにより、主たる生活上の収入を得ている者を指し、例えば地域の自主防災組織への関与は「業務」とは見なさない。

募集・選考

募集人員：若干名

出願期間：令和4年1月11日（火）～令和4年1月24日（月）（必着）

選考方法：一次選考として受講志願書の内容をもとに書類審査を行います。一次選考合格者に対して面接・口頭試問を行い、総合的に判定します。

検定料、入学金及び講習料：検定料、入学金は無料です。講習料は120,000円とします。静岡県及び静岡県内自治体の職員には、一定条件下で減免制度があります。

講座の内容

● 受講期間

令和4年4月から令和5年3月までの1年間が基本ですが、令和6年3月まで1年間の延長受講も可能です。

● 講義・実習科目

下記の科目が開講され、この中から10科目以上の履修が必要です。原則として土曜に開講され、1科目は1日（9時半～18時）で終了します。全科目とも課題が出題されます。

【必修科目】入門演習、専門演習

【基礎系科目】河川工学、火山学、気候学、砂防学、地震学、地震工学、津波工学、人文社会科学のデータ収集と統計処理

【応用系科目】コミュニケーション論、リスク論、企業防災と事業継続論、強震動・地震災害史、建築防災学、災害社会学、都市防災概論、防災法制度、防災気象情報論

【実習系科目】地域調査演習、地質学演習、地震計測実習、地理学演習、地理情報演習、防災実務実習

● 修了研修

修了研修は、受講生と担当教員間のディスカッションにより特定の研究テーマを決め、そのテーマに関する調査研究を行い、結果をまとめるものです。とりまとめた結果は、何らかの公開の場で発表することを義務づけます。修了研修は、担当教員と受講生間の個別指導形式で行われるので、実施期日や回数などは受講生によって異なります。修了研修で指導可能なテーマが募集要項に示されますので、出願時に希望するテーマを記入してもらいます。ただし希望したテーマがそのまま採用されるとは限りません。希望テーマの学術研究としての妥当性を考え、議論すること自体も本研修の一部であり、最終的なテーマは受講生と担当教員間のディスカッションの上で決定されます。

修了判定

講義・実習科目を10科目以上履修し、修了研修の内容を何らかの公開の場で発表した者を、修了判定の対象者とします。講義・実習科目の履修状況、修了研修担当教員からの報告をもとに、ふじのくに防災フェロー養成講座実施委員会が各受講者の修了判定を行います。修了者には、静岡県より「ふじのくに防災フェロー」の称号が付与されます。

問い合わせ先

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836 静岡大学防災総合センター

TEL：054-238-4254 FAX：054-238-4911

ホームページ：<https://www.cnh.shizuoka.ac.jp/>（メール問い合わせはこちらから）

本事業のホームページ：<https://www.cnh.shizuoka.ac.jp/education/fellow/>